

西東京市立東伏見小学校

校長 中嶋 太

かけはし



学校HP

全国社会科教育研究協議会を終えて

校長 中嶋 太

6月28日(土)に第79回全国社会科教育研究協議会を本校にて開催いたしました。全国からたくさんの方々が来校し、社会科・生活科の授業を参観したり、社会科教育に関する講演・協議を行ったりしました。公開した授業は、2年生生活科「まちが大好き たんけんたい」、3年生社会科「西東京市のようす」、4年生社会科「水はどこから」、5年生社会科「米づくりのさかんな地域」、6年生社会科「縄文のむらから古墳のくにへ」です。2年生では、2回の町探検で見つけた「町のニコニコ」を発表したり、町に住む人々の笑顔の秘密について考えたりしました。また、3年生では、西東京市の交通の広がりについて地図を手掛かりに調べたり、これまで調べた西東京市の様子から更に調べたいことについて話し合ったりしました。また、4年生では、石神井川と水道水を比較することから単元の学習問題を見いだしたり、雨水から蛇口までの過程を想像することにより予想や学習計画を立てたりしました。また、5年生では、米づくりの盛んな山形県庄内平野の特徴について調べたり、米づくりに従事する人の思いや願いから学習問題を見いだしたりしました。また、6年生では、下野谷遺跡について学んできた理由について話し合ったり、これから歴史学習を進めていく意味について考えたりしました。子どもたちは、社会的事象から問いを見いだしたり、問いに基づいてすすんで調べたりして、問いに対する自分なりの考えをまとめ発表しました。子どもたちの頑張りに、学びの成長を大いに感じました。

梅雨が近づく5月下旬頃、全校朝会で児童に「学びの3カエル」という話をしました。「カエル」の文言がつく、3つの重要な学び方に関する話です。その1は、「マチガエル(間違える)」です。「学校は間違えるところだから、間違えを恐れず、すすんでチャレンジをしましょう。」という話をしました。その2は、「カンガエル(考える)」です。「自分の頭で考えることが大切です。コピペや人まねではなく、まず自分で考えましょう。」と話しました。その3は、「フリカエル(振り返る)」です。「学んだことを振り返り、学んだことに基づいて考えたり、先の計画を立てたりするようにしましょう。」と話しました。

全国社会科教育研究協議会に向けた学びの中で、次のような児童の姿がありました。学区にある「私のニコニコ」について調べた2年生は、「どろんこさぎょうしよです。りゆうは、人がいっぱいいるし、人がやさしいから。」とカードに書きました。また、西東京の様子について調べている3年生は、「鉄道が東と西を結んでいて、バスが北と南を結んでいることを知らなかったの、知ってびっくりしました。」「社会教育課の方になぜそういう活動をしているのか聞いてみたいです。」とノートに書きました。また、下野谷遺跡について学んできた理由について考えた6年生は、「下野谷遺跡は学校の近くにあるので、下野谷遺跡から昔のことを学び、今の私たちと比べて改善点を見つけ、今の生活をよくするため。」とノートに書きました。これからも、日々の学びの中で、「マチガエル」を恐れず、自分で「カンガエル」、しっかり「フリカエル」を実践して行ってほしいです。

★7月 生活目標 「気持ちのよいあいさつをしよう」

挨拶は、コミュニケーションの第一歩です。本校では、挨拶指導に重点を置き、徹底・習慣化を目標にしています。学校では、「誰にでも」、「自分から」、「元気よく」挨拶できるように取り組んでいきます。ご家庭でも、ぜひ挨拶についてお子様と話をしてください。

生活指導部

16 平和と公正を
すべての人に